

既存コホート研究における飲酒状況の実態調査

研究分担者 池原賢代 琉球大学医学部・教授

研究分担者 澤田典絵 国立研究開発法人がん研究センター・
がん対策研究所コホート研究部・部長

【研究要旨】

本研究では、既存コホート研究における飲酒状況の実態調査として、JPHC-NEXT 研究のベースライン調査及び 5 年後調査データを用いて、飲酒状況とその背景要因の分析を行った。

男性において、飲酒者は、「飲まない」と比べて、年齢が若く、結婚している割合が多く、世帯年収が高く、独居の割合が少なく、社会的なサポートの各項目が「ほとんどいない」の割合が少なかった。純アルコール量で 300g 以上／週（1 日平均 40g 以上相当）の飲酒者は、「飲まない」と比べて、教育歴が少なく、喫煙割合が多かった。純アルコール量で 450g 以上／週（1 日平均 60g 以上相当）の飲酒者では、450g 未満／週に比べて、教育歴、世帯年収が少なく、独居の割合、社会的なサポートの各項目が「ほとんどいない」の割合が多かった。一方、純アルコール量で 300g 未満／週の飲酒者は、教育歴、世帯年収、結婚している割合が多く、独居の割合が少なく、社会的なサポートの状況も良好であった。

女性において、飲酒者は、「飲まない」と比べて、年齢が若く、教育歴が多く、世帯年収が高く、喫煙割合が多かった。純アルコール量で 450g 以上／週の飲酒者では、450g 未満／週に比べて、教育歴、世帯年収、結婚している割合が少なく、喫煙割合、独居の割合、社会的なサポートの各項目が「ほとんどいない」の割合が多かった。一方で、150g 未満／週の飲酒者は、教育歴、世帯収入、結婚している割合が多く、社会的なサポートの状況も良好であった。

本実態調査では、既存コホート研究のデータを利用し、飲酒状況とその背景要因の分析を行い、男女で傾向が異なる背景要因を明らかにした。今後さらにアルコール健康障害対策を進める上で、飲酒状況の様々な背景要因について明らかにしていく必要がある。

A. 研究目的

健康日本 21（第二次）において「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1 日当たりの純アルコール摂取量：男性 40g 以上、女性 20g 以上）の割合」は、男性 14.9%、女性 9.1%（令和元年国民健康・

栄養調査）であり、最終評価は D（悪化している）であった。令和 6 年度開始の健康日本 21（第三次）においても、この目標は引き継がれることになり、その目標達成に向けた対策を講じることが求められている。日本人を対象とした飲酒状況と循環器疾

患やがんの発症・死亡リスクとの関連に関する先行研究では、対象者の背景要因として、社会経済要因や社会的サポート状況などを示したものはほとんどなく、本研究では、アルコール健康障害対策を進める際の一助とすべく、既存コホート研究を活用した一般住民における男女別の飲酒状況とその背景要因を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

JPHC-NEXT 研究の 5 年後調査データ及びベースライン調査データを用いた。5 年後調査データの飲酒状況が未回答であった者 (330 人) を除く、91,073 人 (男性 41,039 人、女性 50,034 人) を分析対象とした。対象地域は、東北地方から九州地方の 7 対象地域である。

飲酒状況は、5 年後調査データを基に「飲まない」、「止めた」、「ほとんど飲まない」、週あたりの純アルコール量「150g 未満」、「150-299g」、「300-449g」、「450g 以上」に区分し、それぞれのカテゴリーごとの背景要因 (教育歴、世帯収入、喫煙、結婚状況、独居の有無、社会的サポートの有無) について男女別に集計した。教育歴については、高校卒業までの割合について集計を行った。

統計解析ソフトは、SAS バージョン 9.4 を使用した。

(倫理面への配慮)

本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会及び国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

C. 研究結果

表 1 に、男性における飲酒状況と背景要因の分布を示した。

・年齢

飲酒者は、「飲まない」、「止めた」と比べて、年齢が低い傾向があった。

「ほとんど飲まない」が最も年齢が低く、「止めた」で高かった。

・教育歴

「飲まない」に比べて、300g 未満/週で「高校卒業まで」の割合が少なかった。一方で、300g 以上/週では、「高校卒業まで」の割合が多かった。

「ほとんど飲まない」が「高校卒業まで」の割合が最も少なく、「止めた」で多かった。

・世帯収入

「飲まない」、「止めた」で 300 万円未満の割合が多く、150g 未満/週で 600 万円以上の割合が最も多かった。

・喫煙状況

300g 以上/週で現在喫煙の割合が多く、300g 未満/週で少なかった。飲酒者において、飲酒量に伴って現在喫煙の割合が多くなる傾向があった。

「やめた」で最も少なく、300g 以上/週で最も多かった。

・結婚状況

飲酒者は、「飲まない」、「止めた」、「ほとんど飲まない」に比べて、結婚している割合 (結婚・再婚・内縁) が多かった。

- ・独居の有無

飲酒者は、「飲まない」、「止めた」、「ほとんど飲まない」に比べて、独居の割合が少なかった。特に、450g 未満／週で少なかった。

- ・社会的サポートの有無

飲酒者は、「飲まない」、「止めた」、「ほとんど飲まない」に比べて、社会的なサポートの各項目が「ほとんどいない」の割合が少なかった。

表 2 に、女性における飲酒状況と背景要因の分布を示した。

- ・年齢

飲酒者は、「飲まない」、「止めた」と比べて、年齢が低かった。特に、300g 以上／週で年齢が低かった。

450g 以上／週で最も年齢が低く、「飲まない」で高かった。

- ・教育歴

飲酒者で、「飲まない」に比べて、「高校卒業まで」の割合が少なかった。

「飲まない」で「高校卒業まで」の割合が最も多く、「ほとんど飲まない」で少なかった。

- ・世帯収入

「飲まない」、「止めた」で 300 万円未満の割合が多く、「ほとんど飲まない」、150g 未満／週で少なかった。

- ・喫煙状況

「飲まない」で現在喫煙の割合が最も少なく、450g 以上／週で最も多かった。飲酒量

に伴って現在喫煙の割合が多くなる傾向があった。

- ・結婚状況

「止めた」で結婚している割合（結婚・再婚・内縁）が最も少なく、150g 未満／週で多かった。

- ・独居の有無

「止めた」で独居の割合が最も多かった。

飲酒者では、150g 未満／週で独居の割合が少なかった一方で、450g 以上／週で「飲まない」よりも多かった。

- ・社会的サポートの有無

150g 未満／週で社会的サポートの各項目が「ほとんどいない」の割合が最も少なかった。飲酒者では、社会的サポートの全項目で「ほとんどいない」の割合が飲酒量に伴って、高くなった。

D. 考察

JPHC-NEXT 研究の 5 年後調査データを用いた実態調査として、性別の飲酒状況とその背景要因の分布を示した。

教育歴については、男性では、「飲まない」に比べ、純アルコール量 300g 以上／週で「高校卒業まで」の割合が高く、300g 未満／週ではその割合が低くなった。女性では、「飲まない」に比べ、飲酒者で「高校卒業まで」の割合が低く、男性とは異なる傾向が見られた。

結婚状況については、男性で「飲まない」に比べて、飲酒者で多かった。女性では、男性と異なりはっきりした傾向は見られなかったが、300g 以上／週で「飲まない」より

少なかった。

独居については、男性では「飲まない」に比べて、飲酒者で少ない傾向があったが、女性では 450g 以上／週で高かった。

また、男性では、「飲まない」に比べ、飲酒者で社会的サポートを受けている傾向があるが、女性では、そのような傾向はなく、150g 未満／週で良好であった。

喫煙については、飲酒量に伴って現在喫煙の割合が多くなり、男女でほぼ同様の傾向が見られたが、特に女性でその割合の差が大きかった。世帯年収については、男女ともに「飲まない」、「止めた」で 300 万円未満の割合が多く、傾向に大きな差異は見られなかった。

E. 結論

JPHC-NEXT 研究データを基に、男女で飲酒状況の背景要因に違いがあることが示された。アルコール健康障害対策の推進において、今後さらに実態調査を進める必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 1. 男性における飲酒状況の背景要因

	飲まない	止めた	ほとんど飲まない	150g 未満/週	150-299 g/週	300-449 g/週	450g 以上/週
人数	7318	2722	1744	10068	7479	5898	5810
年齢(歳)	64.7	68.4	59.5	63.0	64.5	63.6	62.8
学歴							
高校卒業まで(%)	70.9	76.8	59.9	63.2	68.4	72.3	74.9
世帯収入							
300 万円未満(%)	45.9	55.2	34.2	35.0	36.2	34.4	38.1
300-600 万円未満(%)	35.4	32.2	40.7	38.3	39.3	40.1	38.8
600-900 万円未満(%)	11.7	8.4	16.8	16.9	14.8	16.3	14.7
900 万円以上(%)	7.0	4.2	8.4	9.9	9.7	9.2	8.4
喫煙							
現在も吸っている(%)	26.1	16.0	27.9	21.9	25.1	31.4	38.2
婚姻							
結婚・再婚・内縁(%)	76.9	78.6	76.8	83.7	85.2	85.7	81.2
家族形態							
独居(%)	9.0	10.2	8.3	6.8	6.6	6.3	8.1
社会的サポート(ほとんどいない)							
話を聞く人(%)	7.6	7.5	8.1	5.3	4.6	4.9	6.3
助言してくれる人(%)	10.2	9.7	11.1	7.2	6.6	7.2	8.8
愛情をかけてくれる人(%)	5.7	6.4	5.9	3.4	3.4	3.5	4.9
家事手伝い(%)	11.0	11.8	9.9	7.7	7.8	7.6	9.5
支えてくれる人(%)	10.9	10.5	12.5	8.4	7.8	7.6	9.9
信頼、信用できる人(%)	8.8	8.9	10.6	6.4	6.2	5.9	7.9

表 2. 女性における飲酒状況の背景要因

	飲まない	止めた	ほとんど飲まない	150g 未満/週	150-299 g/週	300-449 g/週	450g 以上/週
人数	29803	1192	3261	11920	2353	918	587
年齢(歳)	65.6	62.2	59.3	60.9	59.6	57.7	56.0
学歴							
高校卒業まで(%)	74.0	67.6	58.4	61.3	63.3	63.9	67.1
世帯収入							
300 万円未満(%)	49.5	51.8	38.0	39.5	41.2	40.8	42.7
300-600 万円未満(%)	33.5	32.2	36.7	35.6	33.9	35.4	34.5
600-900 万円未満(%)	10.5	10.8	15.7	15.6	14.7	15.1	14.1
900 万円以上(%)	6.5	5.2	9.6	9.4	10.2	8.8	8.7
喫煙							
現在も吸っている(%)	3.9	12.5	5.9	5.6	13.1	22.6	33.0
婚姻							
結婚・再婚・内縁(%)	74.9	67.2	76.2	77.9	77.3	74.7	72.1
家族形態							
独居(%)	9.4	14.6	8.2	8.5	9.2	8.9	11.1
社会的サポート(ほとんどいない)							
話を聞く人(%)	2.6	5.3	2.9	2.3	3.1	3.0	3.4
助言してくれる人(%)	3.6	6.2	3.7	3.0	4.3	4.3	5.3
愛情をかけてくれる人(%)	2.3	3.9	2.2	1.7	2.3	2.8	4.1
家事手伝い(%)	17.9	24.7	17.0	16.6	19.0	19.3	23.8
支えてくれる人(%)	5.1	10.5	5.7	4.8	6.6	6.3	9.1
信頼、信用できる人(%)	4.3	8.1	5.0	3.8	4.9	4.9	6.9